

KSK

発行 KSK 神奈川県障害者定期刊行物協会  
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3F 横浜市車椅子の会内

# あゆみ会報

2018年9月号 第134号

編集 湘南あゆみ会  
〒254-0807 平塚市代官町21-4 SEA平塚ビル3F フレンズ湘南内  
TEL/FAX 0463-24-0420  
定価 50円（会員は年会費に含まれています）

## これからのお知らせ

### 10月定例会

#### SST勉強会 高森信子先生

10月8日（月・祝日）13:30～16:30  
ひらつか市民活動センターB会議室  
高森先生はご病気の方への良い対応の仕方を、ユーモアを交えて楽しく教えてくださいます。また、お話の中には多くの示唆があり、家族、当事者の気持ちを良く理解したアドバイスをくださいます。SSTは実行してなんぼです。対応の仕方でお困りの方、個人的に相談してみたい方、是非、ご参加下さい。

### 11月定例会

#### 施設見学『公益社団法人やどかりの里』

障害者の為の先駆的福祉施設

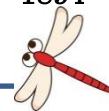
11月29日（木）雨天決行

- ・集合時間 8時00分 集まり次第出発
- ・集合場所 平塚駅南口 農協ビル前
- ・募集人数 20名（小型観光バス利用）
- ・参加費 家族会員 3200円 当事者 2200円（研修費1000円 昼食代600円含）
- ・申込先 ☎080-2071-5909 渡辺みどり
- ・申込締切 11月20日（火）
- ・予定内容 11時～13時 やどかり情報館にて施設説明 昼食 施設見学（移動）  
13時30分～14時30分 サポートステーション見学 生活訓練 ショートステイ

昭和45年 精神障害者の福祉的活動が認知されなかった時代に、精神科病院退院者の中間宿舎として活動を開始。主体化された市民が組織を運営。公的補助金のない20年間を会員が支えてきた。その後、メンバーの要請に応じて様々な活動を生み出し、さいたま市内に現在10数か所の施設を持ち、300人余の障害者たちがやどかりの里を利用しながら地域生活を送っている。

やどかり情報館 さいたま市見沼区染谷 1177-4

TEL 048-680-1891 Fax 048-680-1894



### 第45回 県民の集い 《じんかれん主催》

#### 「当事者一人一人が自信をもって

#### 生きてゆくには」

～オープンダイアログ（開かれた対話）によるリカバリーをめざして～

講師 森川 すいめい氏 みどりの杜クリニック 院長

日時 11月10日（土）13:00～16:00

会場 海老名市文化会館小ホール

入場無料 定員 300名

薬なしで対話によって病気が良くなるというフィンランドで始められた治療法の日本における第一人者に来ていただきます。

日本では未だに薬に頼る治療法が続いていますがそんな素晴らしい治療法があるなら、日本でも是非取り入れてほしいものです。

超お忙しい先生ですので、この機会にその方法をお聞きください。

《 詳細はチラシをご覧ください。 》

## じんかれん研修会 報告と感想

去る9月1日（土）小田原市で開かれたじんかれん研修会「当事者の体験発表～家族の受容 薬をのむ理由」には地元の梅の会会員を中心に行政、福祉関係者、当事者の方々が、60人収容の会場がいっぱいになるほど参加され、熱気のこもった研修会となりました。湘南あゆみ会からも7名が参加しました。

講師の3人の方、阿部さん、尾山さん、長谷川さんは統合失調症の診断名を受けていますが、3人3様の方法で、多くの困難を経た後に、しっかりと自立に向けて歩んでおられる姿が印象的でした。以下の3つのテーマでそれぞれから話していただいた後、さらに質問に答えて頂きました。

- 1 家族の受容とその感想
- 2 薬をのみ続ける理由
- 3 家族に望む関わり方

《阿部さん》

既に両親はなく、アパートで一人暮らし。父は家族に関心がなく放蕩三昧。母は高校時代、病院へ連れて行ってくれたが、全て母の型にはめられ自由に生きたかった。薬は飲まない不安になる禁断症状が出る。漢方薬も飲んでいるが胃の調子も良くなる。母が死んだ時ひどく落ち込んだので、親のいるうちから一人暮らしの練習を勧める。親は過干渉にならず、木の上に立って見る位の関係が良い。ちょっとした事でも出来たことを褒める。

《長谷川さん》

父に複合型の精神疾患があったせいか母は早くから受容してくれた。しかし、理解がありすぎ、全て無理をしないようにと限界を下げるので反発した。漢方薬は体温を上げてくれるので良い。化学性の薬は便秘がひどく合わないので減らすように医者に要求し続けた。親は干渉しすぎないでほしい。弟が具合悪い時、親から弟を助けるように求められたが、後で兄弟間が仲悪くなるのでやめてほしい。悩んでるときには役に立つ言葉を言ってほしい。

《尾山さん》

統合失調症になって29年。今はピアサポーターをしている。母は自分が発病するとすぐに家族会に

入り勉強していた。父は病気を知ろうとせず、良くなったら報告してくれというタイプ。自分が24歳の時離婚した。自分が27才、母が51才の時、親なき後のことを考えておくようにと宣告された。一緒に歩いてくれるので安心である。薬は子どもの頃からアトピーや喘息の薬をのんでいるので、統合失調症の薬も抵抗なく飲んでいる。母は細かいことは一切言わないが、「薬は絶対のため、飲まなかったら一生涯入院させる」と云われた。関西大地震の教訓として薬名・量を暗記しろとグループリーダーに言われた。欠けたところを薬で補うのは正当である。だから全て云われた通りに飲む。新薬は全くダメで旧薬をのんでいる。母が家族会で救われたから自分も家族会大好きである。上手くいかない時の話が参考になると云っていた。息子のために関係機関には一切文句を言わなかった人なので、いま、それが自分に返ってきている。

《主な質問》

①生活の基盤について、とこれからの見通しは？

《阿部さん》 収入は生活保護と障害年金でギリギリの生活。就労支援B型へ行き、それから職を探し生保から離れる積り。

《長谷川さん》 校正の資格を取り週4日フルタイムで働き、アパートで一人暮らし。将来は障害年金と生保で暮らす積り。

《尾山さん》 2級の障害年金で親と暮らしている。病状安定が第一なので働くのは怖い。

②薬の飲み方について

《阿部さん》 そんなに正確には飲んでいない。

《長谷川さん》 大まかにとらえている。

《尾山さん》 きちんと飲む。起きても飲む。睡眠が第一。かつての主治医と今の主治医の意見が異なる時は、今の主治医の指示に従う。

③就労意欲がある。親としては賛成しないが。

《阿部さん》 就労意欲歓迎。応援するが病状に影響ないように。

《長谷川さん》 失敗してもよいくらいの気持ちでやらせてみては。

《尾山さん》 一度はやらせてみるのもよいが病状安定が第一。母は入院しないことは稼いでいるのと同じと認めてくれている。

④病識がなく治療につながらないが。

《阿部さん》小学校2年で自殺未遂。15～6歳で保護室へ入れられた。30歳ごろ病気を受け入れた。

《長谷川さん》幻聴で自分は選ばれた人と思っていたが、人を叩いて警察に留置され、どん底に落ちて病気と気づいた。

《尾山さん》発病から5年たっても治らない、仕事ができないことから病気を受け入れた。

《アンケートの自由記載欄》には

・初めて当事者の話を聞いてしっかりと話をされるので驚いた。

・病気と戦いながら自立して頑張っておられる姿に感銘を受けた。

・今日聞いた話を今後の対応に活かしたい。

など多くの声が寄せられました。 (y.y 記)



### 最近のニュースから

中央省庁の障害者雇用の水増しが問題になっています。以下、2つの記事をご紹介します。

◆【名家連（名古屋市家族会連合会）ニュースから】 (9月2日)

#### 中央省庁の水増し、ほぼ半数の3400人超

##### 行政機関の障害者雇用状況 (2017.6.1時点)

	水増し雇用数	実際の雇用率	調査前雇用率
内閣官房	22.0人	0.31%	2.38%
内閣府	27.0	1.14	2.37
警察庁	0.0	2.41	2.41
金融庁	0.0	2.42	2.42
総務省	70.0	0.76	2.30
法務省	539.5	0.80	2.44
公安調査庁	31.0	0.38	2.36
外務省	125.0	0.39	2.47
財務省	170.0	0.78	2.36
国税庁	1022.5	0.67	2.47
文部科学省	35.0	0.57	2.41
厚生労働省	3.5	2.76	2.76
農林水産省	168.5	1.22	2.39
林野庁	13.0	1.66	2.34
経済産業省	101.5	0.81	2.36
特許庁	49.5	0.50	2.36
環境省	31.0	0.54	2.33
防衛省	315.0	1.01	2.60

防衛装備庁	28.0	0.54	2.63
会計検査院	12.5	1.57	2.54

中央省庁による障害者雇用の水増し問題で、厚生労働省は28日、国の33の行政機関のうち、障害者手帳などの証明書類を確認していない職員を雇用率に算入していたのは、昨年6月時点で27機関の計3,460人に上ると調査結果を公表した。

雇用していたとする障害者約6,900人のうち、不適切な参入は半数に上り、この結果平均雇用率は2.49%から1.19%となった。厚労省のこれまでのまとめでは、個人情報保護委員会を除く32の行政機関で当時の法定雇用率(2.3%)を満たした事になっていたが、実際に達していたのは金融庁など6機関だけだった。

中央省庁で42年間水増しをしていたこと、あらゆる公共機関で水増しが行われていたことなどが報道されています。本来は、政府や地方自治体など規則を守るべき機関が、規則を破っており事態は深刻です。

◆【青木先生（日本福祉大学教授）のメールから】  
共同通信市川記者からの情報 (8月31日)

#### 障害判定「ご都合主義」

#### 雇用は水増し、年金厳しく

#### 支給カットに怒りの声

中央省庁の障害者雇用水増し問題で、国の障害年金を打ち切られたり減らされたりした人々から怒りの声が上がっている。雇用率では障害者といえない人を算入した一方で、年金は厳しい審査で削っており、「ご都合主義」と映るからだ。

「私たちの権利を奪っておきながら、自分たちは不正に数字をごまかしていたとは許せない」

統合失調症がある東京都内の男性会社員(52)は、今回の水増し問題に憤る。2009年から障害年金2級で子どもの加算分を含め月約10万円を受け取っていたが、15年の更新時に「障害が軽くなった」と判定され、突然支給をカットされた。日本年金機構に問い合わせると「会社勤めを続けられているため」などと説明された。しかし症状が良くなったわけではなく、更新の際に機構に提出した診断書の内容は以前とほぼ同じ。障害者手帳と年金は

別の制度だが、手帳の等級は今も2級で変わらない。給料は手取りで月21万円ほど。妻子を含め5人家族の生活は苦しい。「年金でも雇用率でも、障害者の権利保障という本来の目的を忘れて帳尻合わせをしようとしている。根っこの問題は同じだ」と指摘した。

精神障害のある群馬県内の女性（53）も3年前に等級を1級から2級に下げられ、支給額が1万6千円減の約6万5千円になった。年金機構から理由の説明はない。「国が『障害者も差別なく暮らせる社会を』と言っているのは表面だけなのか。信じられない」と声を震わせた。

日本障害者協議会の藤井克徳代表は「年金では障害者への支給を止め、かたや雇用率では障害者をつくりだしてしまう。役所のご都合主義だ」と批判している。

政府は、障害者を含む誰もが活躍できる「1億総活躍社会」をうたうが、旗振り役の国や自治体では雇用者数の水増しが何十年も横行していた。

問題は行政だけではない。一般企業での就職が難しい障害者が働いて技能を身に付ける「就労継続支援 A 型事業所」では、昨年、大量解雇が相次いだ。事業の収益ではなく、障害福祉制度に基づく給付金頼みの運営だったことが原因だ。官民間わず「活躍の場を作る」という理想と現実の間にはギャップがある。

福祉団体や超党派の国会議員連盟メンバーらは今年1月、障害者就労の取り組みが進むオランダやドイツを視察した。

オランダでは就労支援の対象者を障害認定ではなく、一人一人の能力や離職期間などの「働きづらさ」で判断する。障害者手帳の所持を原則とする日本とは対照的だ。

精神障害では周囲の偏見を懸念して手帳を申請しない人も多い。視察に参加した NPO 法人「就労継続支援 A 型事業所全国協議会」の久保寺一男理事長は、今回の問題を契機に「形式的な手帳主義にこだわらず、支援が必要な人が広く対象となるよう制度を見直してほしい」と話している。



## その他のお知らせ

◀ 第39回 ▶

### 二宮町社会福祉大会

ふれあい福祉のつどい

平成30年9月29日(土) 10:00~14:30

ラディアン(生涯学習センター)

記念講演 (栄養講演)

「かつこよく、美しく、いきいきと  
年齢を重ねるための食生活」

講師 澤井 明香 氏

(神奈川工科大学准教授)

- ・社会福祉功労者表彰式
  - ・模擬店 フランクフルト から揚げ お弁当など
  - ・バザー ボランティア団体 福祉団体
  - ・福祉体験スタンプラリー
  - ・展示 小中学校 福祉団体 などの作品
- 参加費 無料

問い合わせ 0463-73-0294 二宮町社協

※町中の多くの団体が参加する楽しい大会です。  
是非 お出かけ下さい !!

◀ 平成30年度 ▶

### 平塚市福祉会館まつり

平成30年10月19日(金) 20日(土)

10:00~15:00

- ・作品展示 絵画 絵手紙 書道 和裁 写真
- ・カラオケ大会
- ・模擬店 障害者団体手作り作品販売

お弁当 パン コーヒー 農産物など

湘南あゆみ会はみどり農園のとれたて野菜、新米、東北支援のわかめなどの販売、当事者の絵画作品展示に参加します。皆様お出かけください。

\*\*\*大磯横溝まつりは準備の都合で今年は参加しないことになりました。

### サロンあゆみのお知らせ

9月21日はいつものひらつか市民活動センター研修室であります。

10月は福祉会館まつりのためお休みとなります。

